

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、1,097件（180種類）であり、このうち件数の多かったものは、「二・五％の年金削減をやめ、安心の年金制度を求めることに関する請願」42件、「年金・社会保障制度拡充の財源確保のため、優遇税制を是正することに関する請願」34件、「原発事故賠償の時効問題の抜本的な解決に関する請願」32件、「子ども・被災者支援法の幅広い適用と具体的な施策の実施に関する請願」32件、「保険で良い歯科医療の実現に関する請願」29件などであった。

各委員会及び憲法審査会の付託件数は、内閣43件、総務2件、法務49件、外交防衛78件、財政金融208件、文教科学82件、厚生労働329件、農林水産1件、経済産業67件、国土交通4件、環境32件、沖縄・北方1件、倫理選挙1件、震災復興63件、国家安保57件、憲法79件であった。

取り下げられた請願は1件（付託前）であった。

請願者の総数は430万8,132人に上っている。

請願書の紹介提出期限は、11月22日の議院運営委員会理事会において、会期終了日の7日前の同月29日までと決定された。なお、12月6日の衆・本会議において2日間の会期延長の議決がなされたが、短期延長のため再受理は行わなかった。

12月6日、各委員会において請願の審査が行われ、5委員会において73件（7種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで、翌7日の本会議において「難病、小児慢性疾患、長期慢性疾患の総合対策に関する請願」外72件が採択され、「中国残留孤児の配偶者の生活支援に関する請願」13件を除く60件を即日内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は6.7％であり、種類別による採択率（採択数／付託数）は3.9％であった。